

令和6年5月末の特殊詐欺発生状況について

- 1 5月中の発生状況
 - ・ 被害件数 6件
 - ・ 被害金額 約150万円
- 2 令和6年5月末の発生状況
 - ・ 被害件数 19件（前年同期比－3件）
 - ・ 被害金額 約2,136万円（前年同期比－約3,752万円）
 - ・ 手口別

区 分	令和6年 5 月末			令和5年 5 月末			対前年比	
	件数	うち未遂	被害額 (万円)	件数	うち未遂	被害額 (万円)	件数	被害額 (万円)
特 殊 詐 欺	19	0	2,136	22	0	5,888	-3	-3,752
オレオレ詐欺	2	0	1,568	1	0	105	1	1,463
預貯金詐欺	0	0	0	2	0	219	-2	-219
架空料金請求詐欺	14	0	458	13	0	1,180	1	-722
還付金詐欺	1	0	100	1	0	100	0	0
融資保証金詐欺	2	0	10	1	0	25	1	-15
金融商品詐欺	0	0	0	1	0	3,710	-1	-3,710
ギャンブル詐欺	0	0	0	2	0	549	-2	-549
交際あっせん詐欺	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の特殊詐欺	0	0	0	0	0	0	0	0
キャッシュカード詐欺盗	0	0	0	1	0	0	-1	0

※ 金額は一万円未満を四捨五入して表記しており、内訳と合計の数値が異なる場合があります。

・ 年代別

被害者の年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代 (65歳未満)	60代 (65歳以上)	70代	80代	90代
人数	0	2	2	0	2	2	3	8	0	0

※ 高齢者率 57.9%

- ・ 男女別 男性10人、女性9人

3 被害の傾向

5月中は、架空料金請求詐欺が4件、融資保証金詐欺が2件発生しました。

＜架空料金請求詐欺の被害例＞

被害者の携帯電話に「9億6,061万円が当たりました。」といったショートメッセージが届き、相手から「手続き料として、コンビニで電子マネーを3万円分購入して、コードを教えてください。」などと指示されました。被害者は、当選金がもらえるものと思い、相手に指示されるがまま、4月初旬から5月10日までの間に、出雲市内のコンビニエンスストアで数回にわたり電子マネー合計約30万円分を購入し、電子マネーのコードを相手に伝えて、だまし取られました。

＜融資保証金詐欺の被害例＞

被害者はスマートフォンのSNSアプリで「即日融資可能」と表示された広告を見つけ、その広告を開き表示された融資サイトに、自分の氏名などの個人情報や銀行の口座情報を入力したところ、アイコンから別のSNSアプリに移行しました。

その後、融資を受けるため、アプリ上でやり取りをしていたところ、相手から電話番号、氏名、運転免許証写真の送信を求められ、送信したところ、電子ローン手数料として、融資を受ける50万円の10パーセントである5万円を振り込むように指示されました。

その後、被害者は出雲市内の金融機関で指定された口座に現金5万円を振り込みましたが、融資を受けられることはなくだましとられたものです。

4 令和6年5月末の「声掛け」等による被害の未然防止状況

- ・ 未然防止件数 46件（前年同期比+20件）
- ・ 未然防止金額 約610万円（前年同期比+約41万円）
- ・ 未然防止率（阻止率） 70.8%

金融機関		配送業者		コンビニ		その他	
件数 (件)	金額 (万円)	件数 (件)	金額 (万円)	件数 (件)	金額 (万円)	件数 (件)	金額 (万円)
4	199	0	0	38	373	4	38

※ 金額は一万円未満を四捨五入して表記しており、内訳と合計の数値が異なる場合があります。